

iシェアーズ 月次ETF*資金流入レポート



渡邊 雅史
ブラックロック・ジャパン株式会社
iシェアーズ事業部
ストラテジスト

ETFは世界中で約5000本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されています。その規模は2兆ドル（約200兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2014年1月のETF資金流入 ～新興国懸念から米国・新興国株から流出～

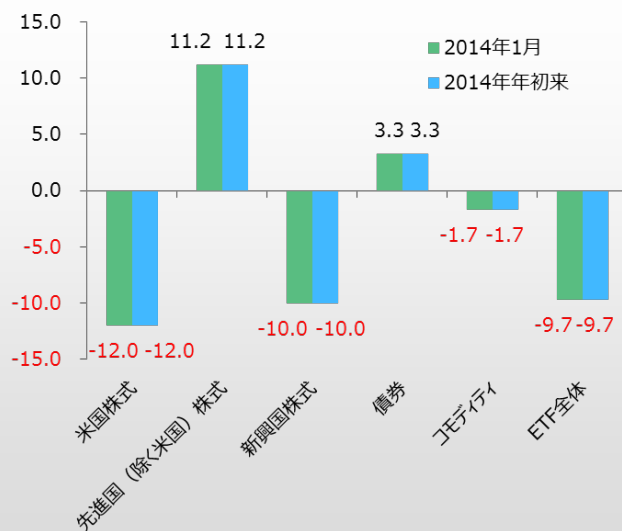
2014年1月のETFへの資金流入は、97億ドル（約1兆円）の流出となりました。

新年の1月の市場は、非常に変動性の高い値動きとなりました。中国の経済指標の悪化、米国の量的緩和縮小（テーパリング）に伴う新興国からの資金引き上げ懸念に、アルゼンチンの債務問題が発生したことで、投資家のセンチメントは悪化しました。

そのような中で、米国株式（-120億ドル）及び新興国株式（-100億ドル）からの資金流出が非常に目立ちました。なかでも米国の大型株、新興国のブロード型（複数の国を幅広く投資対象とするもの）からの資金流出が多く、両市場の相場の不透明感から、リスクアセットからの資金の引き上げが発生したと考えられます。その一方で、欧州株や日本株を対象としたETFへの資金流入は継続しており、地域ごとに違った資金動向になっている点は注目すべきです。特に欧州株への資金フローはここ数ヶ月目立ってきています。

また、債券への資金流入は33億ドルと、株からの流出額と比較するとそれほど多くはないため、株から債券への大きな資金の動きがあったわけではないようです。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

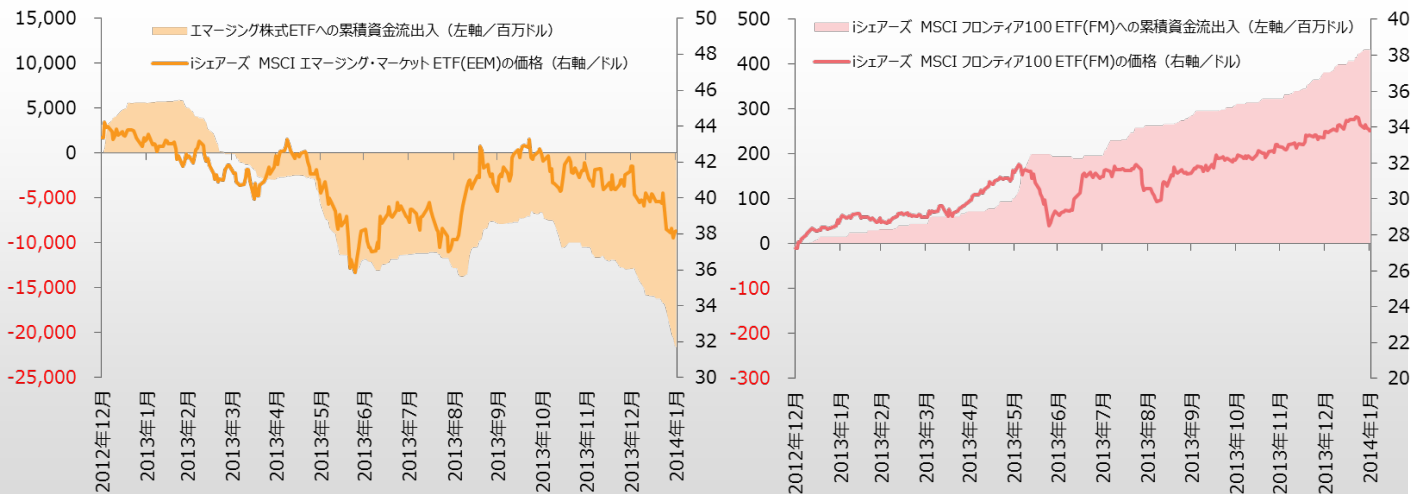


出所：ETP Landscape Jan 2014, BlackRock

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向 ～エマージングとフロンティア～

【*エマージング株ETFとフロンティア株ETFへの累積資金流入と価格の動き】



*当該資産を投資対象としている全てのiShares及び10億ドル以上の残高のあるその他のETF (レバレッジ・インバース型を除く) についてブラックロック・ジャパンがデータを集計したものと
出所：ブラックロック・ジャパン、ブルームバーグ

2013年～2014年初までの株式ETFの資金流入及び株価のパフォーマンスは先進国とエマージングで大きく差があったということは、比較的周知の事実でしょう。しかしながら、エマージング（BRICsや韓国・台湾など）とフロンティア（エマージングにも含まれていない、より発展段階の低い国々）を比較してみると、興味深い事実が浮かび上がります。上記のグラフはエマージングとフロンティアのETFへの資金流入およびパフォーマンスを見たものですが、エマージング株式からは（特にテーパリングの議論が開始された2013年5月以降）継続的に資金流出となり、さえないパフォーマンスとなっています。一方で、フロンティアのETFについては継続的に資金が流入しており、パフォーマンスも悪くありませんでした（ほぼ先進国株式と同等のパフォーマンスでした）。フロンティア市場はまだ小さな市場で、比較的高い投資リスクが見込まれるものの、高い潜在成長性や、グローバルな投資家の資金がまだそれほど入っておらずエマージングからの資金流出の影響を受けづらいこと、フロンティア内の国同士の市場も分断されており、フロンティア市場全体をポートフォリオとして保有することで分散効果が高いことなどが、昨年来のエマージングと比較して優位なパフォーマンスとなった理由だと考えられます。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。また、エマージング市場・フロンティア市場への投資では、一般に変動が大きくなります。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiSharesのウェブサイト (<http://jp.ishares.com/>) にて当ETFに関する情報を開示しております。

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110(部代表) <http://jp.ishares.com/>
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号
加入協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会